



七月二十二日、県よい歯の作品コンクール標語の部で一位に選ばれた。受賞作は「健康は歯から口から笑顔から」。

提出前夜やっとできました



よい歯の標語コンクール県1位
吉野 凌磨さん(12) 上泉町

七月二十二日、県よい歯の作品コンクール標語の部で一位に選ばれた。受賞作は「健康は歯から口から笑顔から」。

「四月の終わりに、先生からゴールデンウィークの課題に考えてくるように言われたのですが、なかなかできなくて。前日の夜に、やっと思いついた標語です。食べるのも、話すのも、笑つのも、みんな口ですること。歯が丈夫で、いつもきれいじゃないといけないと思って、作りました」

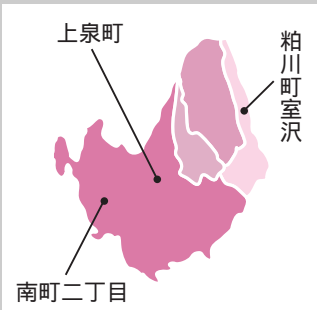
本、丁寧に磨くことを心掛けています。学校の給食後は口をゆすぐだけでなく、夏休み中は毎日朝昼晩の三回、三分以上かけてちゃんと磨いているよ。だから今は虫歯がありません」

夏休みはまだまだこれからやりたいことがいっぱいだよ。毎日午後、プールに通っています。今は半分くらいだけど、二十五をクロールで泳ぐのが今年の目標。検定でそれができたら、四級がもらえるから頑張っています。四歳からピアノを習っていて、今はパーカッションにも熱中しているんだ。始めてまだ一年ちょっとだけど、これからも続け、中学では吹奏楽部に入りたいな。将来は群馬交響楽団で演奏することが夢です」

小学生最後の夏。白い歯を輝かせ、楽しい思い出を作りながら大きく成長してほしい。

ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。



伝統を守る 勇壮な裸みこし

本庁管内

七月十六日、南町二丁目で水神社夏の大祭が開催。この祭りで行われる裸みこしは、かつてふんどし一丁で担ぎ、今でも水を掛ける勇壮な祭りです。

町内にある専門学校生六人を含む三百人が参加。子どものみこしに続き、大人たちが伝統ある総ケヤキ造りのみこしを担いで水神社を出発し、町内を練り



歩きました。大人のみこしには行く先々で水を掛けられ、その度に昔と同じ歓声が。林茂隆自治会長は「伝統ある行事をみんなで守っていききたいですね」と話していました。

まちのニュース

スポーツを通じ 三世代交流図る

粕川地区



七月二十四日に、粕川町室沢で三世代交流グラウンドゴルフ大会が行われました。青空の中集まった人は百五十人。

会場では、子どもたちが、おじいちゃん、おばあちゃんからクラブの握り方を教わるなど、笑いに包まれ、和気あいあいとした雰囲気です。競技の後には、みんなでパーベキューや綿菓子作りを行いました。

自治会長の須藤初夫さんは、みんな楽しんでスポーツやイベントを通じて親子の親ほくを図り、楽しい町にしたいですね」と話していました。